



## 網膜色素変性症患者のために開発された 「暗所視支援眼鏡」のレンタルが開始されました！

2年前、宮城県網膜色素変性症協会会長から「暗所視支援眼鏡の価格は約40万円と高額で購入できない。ぜひ、日常生活用具の対象にしてほしい」との声をいただきました。令和2年第1回定例会の一般質問で「視覚障がい者の外出支援、就学・就労支援、災害における避難、社会的自立に繋がり、何より人生に希望の光を与えるものではないか」と強く訴えました。10月30日には患者会の皆様が直接、都市長へ要望書を提出することができました。念願の要望が実り、10月1日から現行の「障害児者日常生活用具費支給制度」に「貸与費支給」を新たに設けることになりました。(使用料は課税世帯は月1,100円、非課税世帯は無料)



\*網膜色素変性症とは：網膜に異常が起こり、暗いところで物が見えにくい夜盲や色覚異常、視野が狭くなったり視力が低下する遺伝性の難病

\*暗所視支援眼鏡とは：高感度カメラの画像を目の前のディスプレイに投影し、暗いところでも明るく見えるようにするもの



あなたの  
未来に  
笑顔と元気を！

# スマイル通信

Sato-Kazuko Smile report

2021年 秋号

〒982-0804 仙台市太白区鈎取2丁目1-3 TEL&FAX 022-245-7245  
E-mail:sato@sendai-komei.jp URL http://www.sato-kazuko.net

一人の声を大切に！100万人の笑顔のために！

この度、第3回定例会・令和2年度決算等審査特別委員会、都市整備建設委員会での質疑や要望活動等のご報告として「さとう和子スマイル通信2021年秋号」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いでございます。

仙台市において、希望する市民への新型コロナワクチン接種が円滑に進み2回目接種が8割を超え、12月からは3回目接種が開始されるところであります。現在、感染状況は落ち着いてきておりますが、今後懸念される感染に備えた対策や長引くコロナ禍での影響への対策、市政や地域の課題に全力で取り組んでまいります。

2021年12月吉日 仙台市議会議員 さとう和子

## 地域の安全対策を求めて

### 「鈎取4丁目北側交差点の信号機設置」 1,125名の署名簿を携え要望書提出！

9月3日、鈎取紙漉町内会・鈎取八幡町内会の皆様とともに宮城県警本部と仙台南警察署に要望書を提出しました。

地下鉄東西線開業に伴い平成27年11月に供用開始された都市計画道路郡山折立線(鈎取工区)は、小学校・中学校・高校の通学、地域住民、災害時の避難場所への動線など車・自転車・歩行者の通行が多い生活道路です。

8年前に住民より安全対策の声が寄せられ、平成25年8月に鈎取紙漉町内会として宮城県警本部と仙台市に鈎取4丁目北側・南側交差点の安全対策の要望を行ないました。

供用開始から6年目に入り、以前同様、交通量は多く、横断歩道はあるものの、未だに信号機は設置されておらず、昨年、死亡事故も発生したことから、安全対策を求める声が高まっておりました。多くの地域住民の声を届けるため署名活動を展開し2度目となる要望書提出に至りました。

当日は、日々、通行を目の当たりにしている住民の方々にも同席していただき直接、現状を訴えることができました。今後も横山のぼる県議会議員と連携し粘り強く取り組んでまいります。



◆10月1日から◆

### 不育症検査費用助成事業が開始されました！



妊娠はするものの流産・死産を繰り返す不育症。令和3年度新規事業として国の創設(国補助2/1)に合わせ予算化し、先進医療として告示されている不育症検査を対象に助成するものです。1回の検査につき5万円まで。

平成24年第1回定例会の予算等審査特別委員会の質疑から、「適切な検査治療を受ければ8割以上が出産にたどり着くということである。子どもを産みたいという女性へ、不育症同様、支援をすべき」と何度も訴えてきました。引き続き、治療費の助成や相談体制の強化などに取り組んでまいります。



## 視察・活動

### ■新型コロナウイルス肺炎の感染防止等に関する第11次緊急要望書提出！

8月31日、公明党仙台市議団は都市長に、「緊急事態宣言下における市民の安全安心確保」について、1、医療提供体制等の確保 2、希望する方々へのワクチン接種のさらなる推進と感染防止対策 3、市内事業者に対する経済的支援を要望しました。



### ■令和4年度仙台市予算及び制度改革に係る要望書提出！

10月14日、公明党仙台市議団は都市長に、最重点要望①ポストコロナ、ウィズコロナの基盤構築②復興の推進③防災・減災対策の推進④いじめ・不登校・虐待防止対策の推進を柱に157項目、重点要望361項目と合わせて、計518項目にわたり要望しました。

### ■仙台市成人式に関する緊急申し入れ！

9月27日、公明党仙台市議団は都市長に、令和4年の成人式は2部形式開催と発表となり参加対象の区を限定したことについて、どちらでも参加できるよう市民に喜ばれる式の開催に向け緊急申し入れを行ないました。

### ■A.I.(人工知能)で安全運転を最適化 東北大学加齢学研究所・川島隆太教授と仙台放送が開発した「運転技能向上トレーニング・アプリA.I版」拝聴

(10月4日)

### ■仙台市・川崎町広域行政連絡協議会の現地視察

国道286号線バイパス(南赤石工区・支倉道路改良)整備事業(令和11年度完成予定)の進捗状況を視察  
(10月25日)

### ■第1回人生100年時代調査特別委員会出席

少子高齢化社会の到来に際し、市民が人生100年時代を見据えた多様な人生設計のもと、社会的に孤立することなく健康で充実した生活を送ることができる都市の実現を目的とし委員会がスタート。第1回はテーマ・調査項目について委員相互の意見交換を行ないました。今後1年間、有識者からの意見聴取など調査を重ね取り組んでまいります。  
(10月29日)

### 秋保地区の地域交通「ぐるりんあきう」の2回目の試験運行出発式！

10月1日、秋保大滝駐車場で行なわれました。地元住民組織「秋保地区の交通を考える会」では1回目の試験運行(1月18日～3月末)の検証を重ね、秋保全域の運行拡大や当日予約など利便性の充実、改善され2回目へ。そのご努力と地域の活性化に向けた情熱に感謝の思いです。

秋の紅葉シーズンに入り、多くの観光客が利用していますが、地元住民の利用促進が課題です。11月19日の都市整備建設委員会では、地域交通の課題である路線バス・民間事業者との競合、地域の担い手など市の主導的サポートを求めました。これからも持続可能な地域交通実現に向けて取り組んでまいります。

